

“ 澄み渡る、碧空に火守る霧島の連峰、湯煙るえひの高原の原始林をバックとして、小林ロータリークラブはあります。 ”

＊ 新会員紹介

会 員 名 駒井幸一 生明治42年3月7日
 勤 務 先 函館酸素KK 取締役社長
 勤務先住所 函館市浅野町1～3 TEL 52-2482
 学 歴 小樽高校商業学校
 経 歴 函館ドックKK常務取締役函館造船所長(昭44.5退任)
 趣 味 ゴルフ、レコード音楽
 御 家 族 奥さん芳枝さん 長男克行さん 三女由紀子さん
 結婚記念日 昭和11年11月15日
 ロータリー歴室蘭RC 昭和32～昭40 副会長、その他

＊ 会員卓話 “石油と生活” 山内文雄会員

1. 石油の生成 石油はあらゆる鉱物の中で最も古くから人類に知られていたらしい。その成因については有機成因説が受け入れられている。
2. 石油と人類の出合い、ギリシャ神話や旧約聖書の中にも石油に関する記述がかなり見られます。紀元前3000年頃メソポタミア地方のスメル人はアスファルトを接着材として使用、紀元前2500年頃古代エジプト人はミイラー製造にアスファルトを防腐剤として使用されたと云われて云ます。
3. 日本の石油 日本では、天智天皇即位の時、越の国から“燃える水”と“燃える土”が献上されたことが日本書記の中に見えています。“燃える水”は石油で“燃える土”はアスファルトのことであろうと云われています。慶長18年(1613)に越後国の真柄仁兵衛が油井を掘り石油を採取、当時の焼酎蒸溜法を利用現在の灯油にあたるものを製造販売したと記録があります。この石油蒸溜は世界石油史上最初の例であつたと云われています。日本人にとっては、明治時代まで全く無縁のものであつたことは否めません。
4. 石油は如何に利用されて来たか 人類が石油利用をはじめたのは、1780



1969. 9. 10

1969～1970 第10号

265
第226回例会

ロータリー!!
地球上の人間に芽ばえた
友情、奉仕の花
その結実はいわゆる行動にある。



深瀬 鴻一郎 会員 提供

本日のプログラム
卓 話 “アフリカ・ヨーロッパ見聞記”
四倉 太郎 氏 (函館R.C. 会員)

9月 の 暦 (長月) September

- 1日 関東大震災記念日
- 15日 敬老の日
- 20日 彼岸の入り 動物愛護週間
- 24日 結核予防週間

※出席報告

9.3 出席 会員数45名 出席 36名 欠席 9名
 前回の出席会員数 45名 出席 36名 欠席 9名 メーキャップ 9名 100%
 他のクラブ状況 函館R.C. 95.73% 函館東R.C. 93.90%

※ロータリー・クラブの会員資格について

国際ロータリー定款によりますと、国際ロータリーに加盟することの出来るクラブは

次のような資格を持っている正会員から成立つておらなければならないことを明確に規定しています。即ち、

1. 成年男子であること。
2. 人格者であること。
3. 業界の名実であること。
4. 人類社会共存の上にも有用であり、かつ、一般社会に十分認識されている事業のイ) 経営主、ロ) 共同経営者、ハ) 会社の役員又は支配人、ニ) 自由裁量の権限を持つ業務執行上重要な地位にあるもの(例えば、学校長、各種組合長、専務理事等々の如き)、ホ) 会社、その他の地方または支店代表者で、その地方では支店業務に関する全責任を持つもの等のいずれかであること。
5. クラブ地域内で、その職業に自分で実際に従事していること。
6. その職場、住居がクラブの区域内にあること。

以上の通りでありまして、その資格の一つが欠けていても正会員にはなれないのではその有資格者が他のサービスクラブに入会している場合はどうか。ロータリークラブにおける会員の責任を果すためには、ロータリアンは他の奉仕クラブ、又は同種の団体の会員となつて、その関心と精力を分散することは遠慮すべきであると、1929年ダラスに於いて決議されたのです。青年会議所の会員は普通の商業または商工会議所とは、その機能において異つておりますが、「他のサービス・クラブ」という中に入つておらないようです。青年会議所の会員で、ロータリアンとして職業分類および人格において充分の資格があり、奉仕の精神を一般社会に影響を及ぼすような人であれば、ロータリークラブの会員として迎えることには何等支障はありません。

第2654回例会記録

※斉唱 君が代 奉仕の理想
※司会 外山定男 会長
※ゲスト 安保徳輔先生 元函館中学校教師
※ビジター 函館 R.C. 藤河端君 外13名
函館東 R.C. 白崎豊治君 外15名

※幹事報告

1. 例会終了後、本日理事会を開催致します。

※安保徳輔先生ご紹介 下郡山信一会員

会員の皆様の中には、教え子の方が多いかと思います。先生は函館中学から、函館中部高校に亘り、30年以上漢文国語の先生でございました。先生は函館中学19回生で、先輩にもあたられます。現在81才で、11月になりますと82才になられます。

※卓話 「漢詩について」 安保徳輔先生

ただいまご紹介にあずかりました、安保でございます。

漢詩、漢文の中には、文章、演説の中に時折り出て参ります感銘の深い言葉が沢山あります。自然の景観を誦んだうちにも、面白い感銘の深いものがあります。今日は用意した漢詩を読みながら、感想をのべてみたいと思います。

漢詩鑑賞

遊

1. 絶句 杜甫 “江碧鳥^{ミドリ}白、山青花欲^レ然
今春看又過、何日是^レ帰年^ハ”

江(揚子江) 碧(こい緑)にして、鳥いよいよ白くし、その上を飛んでいる鳥がひときわ、めだつて白く見える) 山青くして花萌えんとほつす(山青くして、モモの花が咲き「こうした光景をみながら」) 今春みるみる、またすぎ、いずれの日か、これきねんらん(今年の春もみるみるうちに過ぎてしまうのだ。いつの日になつたら故郷に帰られるのだらう。

2. 憫農 李紳 “鋤^レ禾日当^レ午。汗滴^レ禾下^レ土。
誰知^レ盤中^レ飧。粒^々皆^レ辛苦。”

禾(むぎ、ひえをひけば) ひけば、日午に当る(昼頃になる) 汗はしたたる禾ごの土(自分の汗がたらたらと流れて土の上にしたたる。誰か知らんはん中のハン、粒々皆辛苦(おさらにもつた、夕食をたべる時には、しみじみ一粒一粒が皆辛苦で農民の苦勞がわかる。)

3. 夜下=墨水 服部南郭
“金龜山畔江月浮。江動月湧金龜流。

扁舟不^レ住天如^レ水。兩岸秋風下=二州-

金龜山(浅草のマケス山) ばん、こうけつ浮ぶ、こううごく月わいて、金流ながる、へんしゆう、とまらず、天水のごとし、兩岸秋風二州にくだる。(淋しさが文面によく出ている。二州とは兩國をうまく、やくしている。)

4. 観^レ書有^レ感 朱熹
“昨夜江辺春水生。蒙衝巨艦一葉輕。
向來枉費推移力。此日中流自在行。”

5. 夜雨寄^レ北 李商隱
“君問= 帰期- 未^レ有^レ期 巴山夜雨漲= 秋池-
何当^レ共翦= 西窓燭- 却活^レ巴山夜雨- 時上

“ながれ” 深瀬瀧一郎会員より寄稿

人の流れ、時の流れ、血液の流れが止つた時、人は死に人間が死んでも時の流れは地球の自転と共にとまらない。雲は流れ動き空の色は変化する。空気は流れ、そして水も流れ、人はうごめく、一体この人間という動物は何んであろうか。空気は汚され、水はきたなく澱む、おまえは忘れてしまつたのか、いや思ひだそうとしないのか——なぜ考えないのだ、考えるのが億劫なのか、それとも怠慢なのか、かつて人間が——私達の



例会日 毎週水曜日
12:30~13:30
TEL 23-3870

例会場 函館拓銀ビル
函館市若松町拓銀ビル
七階 五島軒駅前支店

1969. 9. 17

1969~1970 第11号

先人が求めたものも、流れ去ってしまったのか、マスコミの波と流れに漂う浮草の如くマスコミのアクマの風にごめきたむろしている。マスコミはアクマだ、頭の無い、そして地についた足もないマンモスアグ搦手に人間は自ら一生懸命自分自身の墓穴を掘り、麻薬中毒患者のように死の淵に沈んで行く。己に生きていないのだ。人間は生きていないのだ。マスコミの刺激——人間は皮膚と粘膜の動物と化しつつある。おまえの満足は何か、末梢神経か、おまえの脳細胞は、そして高き価値を求める連想細胞の働きは失なわれてしまったのか。人間の特権たる学問、芸術、スポーツ、宗教、それらを本当に人間の手に心に本当の姿で取りもどさなくてはならない。——マスコミやエコノミーや政治の汚水の流れから離脱しなくてはならない。流れ——先人のよき流れを、それを汲みその命をうけ、人間の魂は成長しなければならないだろう。地球は病気にかかっている。人間の患者を癒す医者ばかりではなく、地球の病気を癒す人が求められる。時は流れ、人も流れて行く、然し、よき人の心の流れもつきないであろう。

宝石ダイヤモンドの話

硬さと美しい輝きに於いて宝石中の最高を示し、古来から珍重され財産価値でも国際的に最も安定している。ダイヤはブリリアンカットが使われますが、①、高い屈折率。②、全反射。③、光の分散。④、研磨面の硬質美によります。ダイヤモンドは殆んどはロンドンにある俗にシンジケートと呼ばれる一つの中央販売組織に集められ、世界の市場状況をみながら価格をつけられます。従つて、商品的信頼を基礎づけられています。値段は1カラット40万~130万ぐらいと云われ、1カラットは0.2gです。ダイヤの価値は、カラット数 (Carat) 色 (Color) キス (清澄さ Clarity) カット (Cut) の良し悪しの総合判断によります。この四つをダイヤの価値を決める「4つのC」と云います。類似石は、天然でジルコン、合成では、ルチル・チタン酸ストロンチウム、スピネル、無色コランダム、他に鉛ガラス、はり合せ石があり無色透明石で、光沢もあります。ダイヤをつけていると輝きの品格のちがひ、石の肌のちがひ、ダイヤ独特の光沢が解ります。科学的な判別方法は、石の硬度をしらべることです。人工ダイヤは、現在工業用にしか使えない色の黒い粒もこまかいものしか出来ていません。汚れはブラシに石けん水かアルコールをつけて洗つて下さい。産地は南アフリカ、ソ連、ブラジル、ボルネオ、アメリカ等で、約2,000年前インドがはじめての発見地で、昔から「美と不滅」の身分をあらわしています。名の由来は、ギリシヤ語の「アダマス」ラテン語の「ダイヤモンド」から来ており、意味は「征服されざるもの」と賞讃されています。

次回例会日9月17日です。

次週プログラム
未 定

REVIEW AND RENEW (F・コンウエイR.I.会長)
再検討し 刷新しよう

第266回例会

ロータリー!!
地球上の人間に芽ばえた
友情、奉仕の花
その結実は我々の行動にある。



深瀬 鴻一郎 会員 提供

本日のプログラム
卓話 "U.H.F. 放送について"
高杉重雄 会員

- ◎ 出席報告
9.10 出席会員数 45名 出席 31名 欠席 14名
前回の出席 会員数 45名 出席 36名 欠席 9名 メーキャップ 9名 100%
他のクラブ状況 函館R.C. 94.92% 函館東R.C. 92.68%

第265回例会記録

- ◎ 斉 唱 我等の生業
- ◎ 司 会 外山定男 会長
- ◎ ゲ ス ト 四倉太郎氏 (函館R.C.)
- ◎ ビ ジ タ ー 中田新三君 (京都R.C. 綿布販売)
安西昌治君 (福岡R.C. 広告)